

2026年度 北海道大学大学院
文学院修士課程入学試験（後期）

試験科目名

専門試験（西洋史学）

出題の意図

大学院における専門的な研究を遂行するうえで必要な諸能力を備えているかどうかを判断することをねらいとする。具体的には、古代から近現代にいたる西洋史学に関する基礎的な知識を問うとともに、それらの知識をもとにしてさまざまな歴史学上の概念操作を行える論理的思考能力を保持しているかどうかを試すことにしている。

2026年度
北海道大学大学院文学院修士課程入学試験問題（後期）
（専門試験） 西洋史学 全1枚のうち1枚目

この試験では、試験問題 1枚、解答用紙 3枚を配付する。

以下の設問に答えなさい。

問1. 「17世紀の危機」について、研究史を踏まえて論じなさい。

問2. エドワード・サイードは著書『オリエンタリズム』（原著1978年刊行）の中で、区分を設けることで世界の一部を西洋と東洋とに分け、その区別を前提として語ることにについて厳しく批判した。彼による問題提起を前提として、近世のロシア国家に向けられた「西側の視線」においては、何が問題とされるべきかについて論じなさい。

問3. 以下の語句について、簡潔に説明しなさい。

- (1) アクティウムの海戦
- (2) カノッサの屈辱
- (3) ヘンリ8世
- (4) モンロー宣言
- (5) ドレフュス事件